

LPガスCP情報(2014年9月積み)

1. 9月積みサウジアラムコLPガスCP

プロパン 745^{ドル} (前月比 -35^{ドル})
ブタン 785^{ドル} (前月比 -15^{ドル})

① LPガススポット市況

LPガス市場をみると、供給が潤沢なのに対し不需要期でマーケットは需給緩和感が強く、原油市況、ナフサ等石油製品市況も急落しLPガススポット市況は軟化した。CP先物は第1週に反騰する場面もあったが、プロパンは不需要期で弱含みブタンは石化等の堅調な需要に支えられ、ブタン高プロパン安が顕著となった。なお、期先は9月をボトムに10~12月限までコンタンゴ(期先高)。極東CFRは月間で軟化、直近でプロパン838^{ドル}、ブタン882^{ドル}。フレート市況は船舶需給逼迫感がやや緩和し軟化したものの100^{ドル}超の高値で推移した。ナフサは原油市況の急落で第3週は878^{ドル}まで下げており、月間平均で905^{ドル}と前月比70^{ドル}の下落であったが、ブタン安ナフサ高は続き石化需要は堅調。

原油(A・L)熱量等価換算では前月に比べプロパン0.4ポイント下落、ブタン2.1ポイントの上昇、前年同月比ではプロパン7.7、ブタン5.9ポイント低い。

	第1週	第2週	第3週	第4週	平均
フレート	111	105	104	103	106
CP先物指標：P	762	745	754	745	751
CP先物指標：B	822	800	795	785	800

② 原油市況等

原油市況をみると、8月WTIは97^{ドル}台後半で始まり下旬に93^{ドル}台まで下げた。ファンダメンタルズの弱さを地政学的リスクが下支えする形。ウクライナ情勢の緊迫化とイラク情勢の混迷する中、リビア原油輸出の再開見通しからブレント原油も軟化した。一方、米原油在庫は製油所稼働率の上昇で減少したが、クッシング在庫はコフィービル製油所の事故の影響で増加。原油生産量は1986年10月以来の高水準が続いている。原油先物市場は投機資金が株式にシフトされ、総取組高は160万枚を割り込んだ。26日時点の大口投機玉の買い越しは31.8万枚と過去最高を更新した6月から14万枚の減少、手仕舞い売りが進んだ。

○8月積みアラビアンライト(8月1~29日)は103.991^{ドル}(前月比-4.414^{ドル})

熱量等価AL100% プロパン 852.62^{ドル/トン} ブタン 840.92^{ドル/トン}
AL比 プロパン 87.38% ブタン 93.35%

2. 2014年9~10月LPガス仕切(CPコスト変動分)への影響

適用期間	TTS	P:円建CP	B:円建CP	P前月比	B前月比
16~15日①	104.57	77,905	82,087	-2,500	-400
26~25日②	103.63	79,000	82,100	-3,100	-2,000
1~30日③	103.97	79,300	82,400	-2,900	-1,800

*TTS平均は①が8月16日~8月29日まで、②は7月26日~8月25日

③は8月1~29日、①は10月仕切への影響、②~③は9月仕切適用。②、③は前月・当月CP50%案分。詳細は(LPガス価格推移表等を参照)

なお、各社の仕切は、フレート分、バンカーサーチャージ等の改定もなされるため、CPコスト変動分と実際の仕切と異なるケースがあります。更に、税制、制度変更や為替レートの急変動等もあり、改定幅についてはご注意ください。